

公益財団法人 林レオロジー記念財団  
平成 30 年度(第 7 期)事業計画書

本財団は、わが国の食料品製造機械産業における研究開発を支援するための助成事業、人材育成事業等を行い、日本の食品産業の育成に寄与すること、並びに各国、地域独自の食文化の発展・再興・普及の促進に寄与することを目的とした活動を行う。

【公益目的事業費】

1 奨学金給付事業

本事業は財団の目的を理解し、食品産業の学術研究において将来の発展が期待できる大学院生、大学生、専門学校生を対象に奨学金給付事業を行う。

平成 29 年度の応募者総数（平成 30 年度給付予定）は 164 名〔大学院生：122 名（内訳：2 年生 48 名、1 年生 74 名）、大学生：40 名（内訳：4 年生 20 名、3 年生 20 名）、専門学校生：2 名〕となり、「奨学生選考規定」に基づき下記のとおり 80 名の奨学生を決定し、奨学金給付を実行する。

なお、昨年度からの継続奨学生 53 名の 2 年目給付奨学金の額は、29,400 千円となる。

No.	予算の内容	予算額 (千円)	平成 30 年度 給付分 (千円)
(1)	大学院 2 年生:月額5万円を1年間、 <b>21</b> 名に給付する。	12,600	12,600
(2)	大学院1年生:月額5万円を 2 年間、 <b>37</b> 名に給付する。	44,400	22,200
(3)	大学4年生:月額3万円を1年間、 <b>11</b> 名に給付する。	3,960	3,960
(4)	大学3年生:月額3万円を 2 年間、 <b>9</b> 名に給付する。	6,480	3,240
(5)	専門学校生:月額 3 万円を1年間、 <b>2</b> 名に支給する。	720	720
平成 30 年度採用奨学生の奨学金給付予算小計		68,160	42,720
(6)	大学院 2 年生:月額5万円を平成 29 年度からの継続奨学生 <b>43</b> 名に1年間給付する。	25,800	25,800
(7)	大学4年生:月額3万円を平成 29 年度からの継続奨学生 <b>10</b> 名に1年間給付する。	3,600	3,600
平成 29 年度採用奨学生 2 年目奨学金給付予算小計		29,400	29,400
奨学金給付予算合計		<b>97,560</b>	<b>72,120</b>
(8)	その他公益目的事業に必要な費用	<b>7,370</b>	<b>7,370</b>
公益目的事業費 合計		<b>104,930</b>	<b>79,490</b>

※平成 30 年度に新規に採用する奨学生は 80 名、平成 29 年度からの継続採用奨学生は 53 名となり、合計 133 名の奨学生に奨学金を給付する。

本事業の予算総額は、期末配当金の予想額（平成 30 年 6 月末受領予定）及び中間配当金(平成 30 年 12 月受領予定) の予想額、並びに特定費用準備資金取崩額を勘案し事業計画を立案した。

## 2 特定費用準備資金の運用及び積立額

奨学金給付事業が継続的かつ、円滑に維持運用ができるように、平成 29 年度分の受取配当金の増加分を特定費用準備資金の「奨学金給付事業・奨学給付金積立資金」の中で、別途に名称を付し積立管理する。

平成 29 年度 3 月末日付の積立は、「奨学金給付事業 奨学給付金積立資金

(2017-2023)」として、16,000 千円を 2017 年 3 月末日から 2023 年 4 月 1 日までの積立期間 8 年として積立てる。

また、平成 29 年度から平成 30 年度までの 2 年間給付奨学生の平成 30 年度の 2 年目給付分奨学金 29,400 千円を平成 30 年 3 月末日付で、「奨学金給付事業 奨学給付金積立資金給付金積立資金 (2 年目給付)」として積立てる。

積立額合計は 45,400 千円とする。

## 3 平成 30 年度の特定費用準備資金の取り崩し額

奨学金給付事業に関する特定費用準備資金の取り崩し額は、配当金の増額分積立から 6,500 千円を取り崩し奨学金として給付する。

30 年 3 月末日付で、「奨学金給付事業 奨学給付金積立資金給付金積立資金 (2 年目給付)」として積立てた 29,400 千円を全額取り崩し奨学金として給付する。

取り崩し額合計は、35,900 千円とする。